

11月度「京都学ラウンジ ミニ講座」（開催報告）

2019年11月28日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ ミニ講座」を開催しております。この度11月7日（木）～11月28日（木）にかけて「室町時代の細川氏と京都」と題して、4回開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 日 時 2019年 11月7日・14日・21日・28日
いずれも木曜日 13:30～14:00
- 会 場 京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ
- 参加者数 46名（7日）、55名（14日）、47名（21日）、58名（28日）
合計 206名
- 内 容 講師 京都府立京都学・歴彩館京都学推進課 川口 成人
「室町時代の細川氏と京都」（全4回）
 - 第1講 都会に生まれてー京都人細川氏ー
 - 第2講 頼れる叔父さんー細川持賢と細川勝元
 - 第3講 お手並み拝見ー細川氏と室町文化ー
 - 第4講 たしかな足跡ー細川氏ゆかりの地を歩くー

■ 講座の様子

歴史に名を残す人がいる。室町時代、武家政権のトップである足利将軍家（室町殿）もその一つである。歴史に名を刻む人とは個人的力量だけではなく、その人を支える有能な人に恵まれている人ということもある。室町殿を支えた有名大名、細川氏が今月ミニ講座の主演である。

細川氏は、京都にあって室町殿を支える管領として歴史に名を残してきた。その細川氏の来歴や細川一門の広がりについての第1講。有名な細川勝元にも彼を支える頼もしい人がいた。叔父さんの細川持賢である。あまり知られていない持賢の活躍についての第2講。室町時代の大名は、分国に下向することは稀で、在京して活動していた。分国と京都の間を被官が往来し、その結果、地方においても在京大名の影響を受けた文化が華開いたのである。細川氏が室町文化の担い手としてどのような活躍をしたのかについての第3講。そして、細川氏の足跡を訪ねた第4講。様々な観点から室町時代の細川氏について講義があった。内容は多岐にわたり、室町時代の特徴についてもうかがい知れる内容であり、各回多くの参加者を得て、好評を博した。

